

# 中晩柑作業暦

萩市  
JA山口県萩統括本部

項目	月旬	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12																				
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下																					
生育状況		花芽始め						花芽終り			発芽始め			開花始め			満開			根の伸長			生理落果			緑化完了			夏枝伸長			生理落果			根の伸長			秋枝伸長			果実発育			最盛期						果実着色			根の伸長		
主な作業		収穫 施用 又はマリンカルの 有機物、苦土石灰			貯蔵管理の徹底 間伐 第一回春肥の施用 (有機配合80kg/10a)			整枝剪定 中耕除草 苗木の定植、移植 防風樹の刈込み 穂木の採収			高接 第二回春肥の施用 (有機配合80kg/10a)			イヨカンの花肥の施用 (硫酸20kg/10a)			土壌流亡防止			夏肥の施用 (有機配合80kg/10a)			あら摘果 (大玉生産は早期摘果で)			草刈・除草剤の散布			仕上げ摘果			干ばつ対策			台風対策			樹上選果 初秋肥の施用 (有機配合80kg/10a)			腹接、根接			夏秋梢の処理			晩秋肥の施用 (有機配合80kg/10a)			収穫 幼木の防寒 収穫始め予措貯蔵					
必須防除	かしよう病				被害枝葉の剪除 (園外へ処分)																																																		
	黒点病				枯枝の剪除 (園外へ処分)																																																		
	カイガラムシ類																																																						
	ミカンハダニ	トモノールS (60倍) 3月上旬まで (カイガラムシ類、ミカンハダニ)																																																					
	ミカンサビダニ																																																						
	コアオハナムグリ ケシキスイ類「訪花昆虫」																																																						
	チャノキイロアザミウマ 「スリップス」																																																						
	ゴマダラカミキリ 「天牛」																																																						
	ミカンハモグリガ 「エカキムシ」																																																						
	貯蔵病害 (青かび病・緑かび病・軸腐病)																																																						
ヘタ落ち防止																																																							
応急防除	ミカンサビダニ																																																						
	ミカンハダニ																																																						
	カイガラムシ類																																																						
	チャノキイロアザミウマ 「スリップス」																																																						
	カネタタキ																																																						
備考	病害虫名欄の「」内は 俗称			●トモノールSとIC ボルドー66Dの 散布は2週間以上 間をおく。			●ナメクジ類はス ラゴを使用。			●ICボルドー66D にはアビオンE 2000倍を加用 (葉やけ防止)			●トモノールSとコ サイド3000の散 布は2週間以上 間をおく。																																										

早期摘果で大玉生産!

栽培防除日誌の確実な記帳を!

摘果基準	摘果	あら摘果	仕上げ摘果	樹上選果
アマナツ ハッサク	7月上旬	最終目標葉果比: 100~120 全摘果量の70%	8月上旬	小玉果、傷果を中心に摘果する。 全摘果量の20%
	6月下旬	最終目標葉果比: 80~100 全摘果量の70% 有葉果を主体に残す。主枝の先端30cmの果実は全て摘果する。	7月下旬	裾枝や内なり果及び粗皮果を除く。 全摘果量の25%
イヨカン	9月中旬	小玉果、傷果を除去する。 全摘果量の5%		

除草剤	品名	10a当り使用量	使用時期	作用特性	摘果要
ラウンドアップ マックスロード	移行型	水100ℓに200~1000ml	雑草生育期 (収穫7日前まで)	遅効性、殺草力強い 抑草期間90日以上	処理後1時間以内の降雨は効果を低下させる。
	接触型	水150ℓに500ml(専用ノズル)	雑草生育期 (収穫前日まで)	速効性、殺草力強い 抑草期間30日以上	気温や降雨の影響を受けにくい。 曇天、夕方散布が効果的。保管取扱は充分注意する。
	バスタ液剤	水150ℓに500~1000ml	雑草生育期 (収穫21日前まで)	やや遅効性、殺草力強い 抑草期間60日以上	散布後降雨が予想される場合は使用しない。 草丈は30cm以下で使用する。

農薬希釈表	希釈倍率	水10ℓ当り 薬量 g・ml	希釈倍率	水10ℓ当り 薬量 g・ml	希釈倍率	水10ℓ当り 薬量 g・ml
	30	333	200	50	2,000	5
40	250	500	20	3,000	3.3	
60	166	600	16	4,000	2.5	
80	125	1,000	10	5,000	2	
150	66	1,500	6.6	6,000	1.6	

かんきつの大敵(ゴマダラカミキリ)を園内から追放しよう。

農薬使用基準厳守。

適期防除で秀品生産!

令和2年1月 作成